

25 富山港線軌道複線化事業の推進について

路面電車南北接続事業（第2期）の軌道延伸による所要時間増加に対応し、現在の利便性の高いパターンダイヤによる高頻度運行を継続するため、**富山港線軌道区間の一部（八田橋～奥田中学校前停留場）を複線化**するとともに、富山港線利用者のさらなる利便性向上を目指し、駅間距離が長いインテック本社前停留場と奥田中学校前停留場の間に1箇所、南北接続に伴い駅間距離が拡大するインテック本社前停留場と富山駅停留場の間に1箇所、計2箇所にバリアフリーに対応した**新停留場を整備**します。

このうち、**富山港線軌道複線化は平成29年度末に完成しており、引き続き、新停留場整備の推進**について格段の配慮をお願いします。

富山港線軌道複線化及び新停留場整備

- | | |
|--------|---------------|
| 1 事業年度 | 平成26年度～令和2年度 |
| 2 事業費 | 約1,242百万円 |
| 3 事業延長 | 約340m（新停留場含む） |
| 4 事業者 | 富山市 |

富山港線軌道複線化事業位置図

